



羽合小学校 学校通信

平成26年10月14日 NO.75

65.545円

74号でも紹介しましたが、6年生が広島へ修学旅行に出かけるのに合わせて「広島土砂災害支援募金」に取り組みました。ご協力ありがとうございました。募金の合計金額は65.545円になりました。3クラスそれぞれの代表が、集まった募金を広島市の担当者の方に直接お渡ししました。募金をお渡ししましたが、6年生をはじめとして、浄財をお寄せいただいたすべての方の心をお渡ししたと思います。

学校通信66号で「勉強は何のために」ということについて書きました。修学旅行をきっかけに6年生の子どもたちは「平和で安全で、みんなが幸せになれる社会」を作るためにどうしたらよいのか考えました。募金を集めることで、平和学習に取り組むことで具体的に自分に何ができるのか、何を目的に学ぶのか考えたことと思います。

土砂災害について考える中で、気象や災害への対応、土木技術や町作りなど災害を防ぐために様々な英知を集めなければならないこ

と、緊急事態に対応する消防や救急、自衛隊や警察などの組織の大切さ、住民の生活をささえる行政やボランティアのありかたなど考えることはたくさんありました。子どもたちがそのことに大きく心を動かされるならば、研究の道に進む者、災害に強い家造りに取り組む設計士や建築業等を選ぶ者、消防や救急などの職業や、看護師や医師等の資格に挑戦する者、住宅関連の会社員や公務員として町作りに取り組む者、いろいろな道が見えてくるのではないのでしょうか。何かあったときボランティアに立ち上がる人になっていくかもしれません。平和学習についても同じ事です。

わたしたちは「平和で安全で、みんなが幸せになれる社会」を作るために勉強をしています。その道を歩むために勉強をしています。そうすると、社会のみんながお互いに支え合って生きていることも分かってきます。人としてどう生きたらよいのかも見えてくるのだと思います。

今年もすばらしい修学旅行になりました。考え行動することはこれからも続いていきます。

【届けよう 心の歌声 湯梨浜に】

10月24日（金）に行われる、わたしたちの羽合小学校の学習発表会スローガンが決まりました。今、子どもたちは一生懸命練習に取り組んでいるところです。スローガンに「心の歌声」とあります。心の内にある思いを歌声に載せて届けたいという意味なのですが、子どもたちはどんな思いを伝えたいと思っているのでしょうか。お父さんやお母さんに、おじいさんやおばあさんに、聞いて下さるすべての方に伝えたいという思いは何なのでしょう。お忙しい時だとは思いますが、子どもたちの発表をぜひご覧いただいて、子どもたちの思いを受け止めていただければうれしいです。持ち帰っていただければうれしいです。お待ちしています。

羽合小学校 寺谷英則